

平成27年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 やさいを育て隊 いっぱい食べ隊

- 1 趣 旨 鹿児島県の特産物である桜島大根などの冬野菜を栽培することにより，自然の中で協力して働くことの大切さを学び，自然の恵みに感謝するとともに収穫の喜びを味わう。
- 2 期日(予定) 平成27年 8月29日(土) 9月12日(土) 10月17日(土)
11月21日(土)
平成28年 1月16日(土)
- 3 対象者 家族や児童クラブなど
- 4 募集定員 50人程度
- 5 参加者 6団体71人(3家族，2団体，1児童クラブ)
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員



7 実際の実施期日及び活動内容，参加者等

月 日(曜)	活動内容	参加者(団体)	参加者数
8月29日(土)	野菜栽培の説明 雨天のため，クラフト活動を実施	福岡ファミリー 田中ファミリー 佐山ファミリー わかば児童館 星幼稚園竹組	55人
9月5日(土)	整地 種まき等	福岡ファミリー 田中ファミリー わかば児童館	35人
9月12日(土)	整地 種まき等	福岡ファミリー Just a Little 星幼稚園竹組	39人
9月19日(土)	発芽観察等	わかば児童館	30人
10月17日(土)	除草 追肥等	佐山ファミリー わかば児童館 星幼稚園竹組	57人
11月21日(土)	白かぶ・赤かぶ・水菜・さつまいも・里芋の収穫 除草等	佐山ファミリー 田中ファミリー Just a Little わかば児童館 星幼稚園竹組	54人
1月16日(土)	桜島大根の収穫 試食会	田中ファミリー 佐山ファミリー Just a Little わかば児童館	40人
1月31日(日)	桜島大根の収穫	星幼稚園竹組	25人

8 事業運営について

本事業運営については，次のような点に留意した。

- (1) 特産物の桜島大根だけでなく，いろいろな冬野菜があることを紹介し，その中で比較的簡単に栽培できる野菜を選び，子供たちの関心を高めていった。
- (2) 実施期日は予定として設定したが，天候に左右されることや参加者の都合等を考慮して，参加者の実情に応じて個別に対応することとした。

9 事業の実際

(1) 8月29日(土)

荒天のため、育てる野菜の栽培の仕方や日程等について説明し、整地や種まきは翌週に延期することとした。その後、子供たちはどんぐりクラフトやスローグライダーなどを体験した。

(2) 9月 5日(土)

畑の土作りやうね作りは、事前に職員が行い、種まきの日を迎えた。参加者は10時に集合し、まず職員から桜島大根、赤かぶ、白かぶ、水菜の種のまき方について説明を聞いた。その後、職員から適量の種を配付された子供たちは、この小さな種が大きく成長することを祈りながら丁寧にまいていった。

(3) 9月12日(土)

前週に参加できなかった参加者が種まきを行った。

(4) 9月19日(土)

参加者はきれいに発芽した様子を観察しながら、間引きや周りの除草を行った。

(5) 10月17日(土)

野菜は台風等の被害を受けることもなく、大きく成長した。

株間を広げ、さらに成長させるために間引きを行った。間引いた野菜は持ち帰り、食材の一つとして利用することとした。

(6) 11月21日(土)

赤かぶや白かぶ、水菜が収穫できるまでに成長し、子供たちは両手に抱えきれないくらいに収穫でき、大喜びだった。

また、職員が栽培していた青首大根やさつまいも、里芋の収穫も重ねて行った。

(7) 1月16日(土)

いよいよ桜島大根の収穫の日を迎えた。好天の中、久しぶりに農園に来た子供たちは、濃い緑色をした葉っぱが大きく茂った様子を見て歓声を上げていた。子供一人では抜けないような桜島大根もあり、家族や友達と協力して数人がかりで収穫していた。

収穫後は、いろいろ庵で職員が準備した桜島大根たっぷりのおでんを収穫の喜びを味わいながら、おいしくいただいた。

当日参加できなかった団体等は、後日収穫し自宅に持って帰られた。

10 成 果

参加した子供たちや保護者、関係者の皆さんは意欲的に活動し、毎回笑顔や笑い声の絶えない事業となった。また、子供たちは収穫だけでなく、その後の後片付けにも積極的に参加することができた。

「野菜の植え方、育ち方、収穫の仕方、育てた野菜をいただくという流れを、子供とともに体験することができて、何よりでした。」といった感想が多く寄せられた。

